

【京さんぽ】京都のプロに聞く！ 祇園祭「宵山」の見どころや楽しみ方って？



許可済み

いよいよ、日本三大祭のひとつ**祇園祭**が始まりますね。街を練り歩く勇壮な山鉦巡行はもちろんのこと、幻想的な雰囲気の宵山散策は、お祭り気分をさらに高めてくれます。でも、「そもそも、宵山ってなに？」「宵山の具体的な楽しみ方って？」といった疑問をお持ちの方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで今回は、京都の旅行企画や講演、ガイドを務め、山鉦の保存会にも所属されている「らくたび・京都学講師」の山村純也さんに、宵山の見どころや楽しみ方を教えていただきました♪

⇒お祭情報が盛りだくさん♪「[祇園祭ガイド2018](#)」は[こちら](#)

⇒[山村純也さんおすすめ！京の台所「錦市場」のうまいもん6選](#)

そもそも、祇園祭ってどんなお祭？

お祭情緒溢れる宵山や、絢爛豪華な山鉦巡行が多くの観光客を集める祇園祭。しかし、お祭自体の起源や歴史は、意外と知られていないのではないのでしょうか。もっと深く祇園祭を知れば、楽しさも倍増するはず！その歴史とは一体どんなものなのでしょう？



山村さん「祇園祭は八坂神社の祭礼で、その歴史は平安時代前期（869 年）まで遡ります。その頃、全国で疫病が蔓延していたのですが、それは災いをもたらす神・牛頭（ごず）天皇の仕業だと考えられていました。神を鎮めようと、神泉苑で当時の国数と同じ数の鉾 66 本を立て、祇園社の神輿を神泉苑に奉納し、そこで疫病退散を祈る御霊会（ごりょうえ）を行いました。これが、祇園祭の起源だと言われています」

いまの華やかなイメージからは想像もつかないような由来があったのですね。でも、なぜ疫病退散に鉾が使われたのでしょうか？

山村さん「鉾には悪い物を吸い込む力があると考えられていたためです。その後、街に漂う悪いものを引き寄せて綺麗にしようと、氏子が鉾を持って街中を巡廻するようになっていきます。これが、今の山鉾巡行の原型です」

最初から、豪華な山鉾で巡行していたわけではないんですね！ では、いつ頃からいまのような山鉾に変化していったのでしょうか。

山村さん「鉾に装飾をつけたしたのは鎌倉時代頃からですが、現在のように豪華・巨大化したのは室町時代からです。室町時代は職業が多様化し、経済が発展してきた時代。各山鉾に属する町衆達が裕福になり、それに合わせて装飾も豪華になっていったのですが、次第に“自分のところの山鉾はこんなに豪華だぞ”と競うようになっていったんです。いかに山鉾を豪華に飾り大きくするかで町衆たちの経済力を示す、いわば自慢の場だったんですよ」

町衆達の誇示がここまで山鉾を大きくしたなんて！それがいまや、“動く美術館”とまで称されているのですから、すごいことですよね。

祇園祭の宵山ってなに？



許可済み

宵山とは、祇園祭のメインとなる山鉾巡行（7月17日・24日）の3日前（宵々々山）・前々日（宵々山）・前日（宵山）の総称で、前夜祭のようなもの。ひとくちに宵山といっても、前祭（さきまつり）宵山と後祭（あとまつり）宵山とでは雰囲気は全く異なります。前祭宵山の15日・16日は夕方から歩行者天国になり、たくさんの露店が出店されたりと、賑やかなお祭りムード。後祭宵山は、歩行者天国や露店の出店はありませんが、祭本来の幻想的な雰囲気で落ち着いて散策することができます。

囃子方（はやしかた）による祇園囃子の演奏に耳を傾け、建ち並ぶ山鉾を見ながら歩くだけでももちろん楽しいですが、せっかくならば祇園祭の宵山ならではの楽しみ方を知りたいところ。お祭りを最大限に堪能するための5つのポイントを山村さんに伺いました！

宵山の見どころや楽しみ方

【その① 町会所（ちょうかいしょ）へ行こう】



許可済み

山村さん「町会所とは、各山鉾町内の寄り合いやお囃子の練習場所になるところ。宵山の期間中には、粽や護符などの縁起物の授与が行われますが、最大の見どころはなんと言っても**会所飾り**。山鉾巡行の際に台座に掛けられる懸装品などがたくさん展示されるんです。巡行のときには動いてしまうのでなかなか細部まで見ることはできませんが、間近でじっくりと鑑賞できるのは宵山ならではの。前懸や胴懸、見送などの懸装品は、西陣織物をはじめ、中国やベルギー、インド製など、重要文化財クラスの貴重なものばかりです。山鉾それぞれ異なる絵柄にも注目してみましょう」

【その② 御神体をじっくりと鑑賞しよう】



未

山村さん「町会所を訪れたら、懸装品とともに展示されている御神体にも注目してみてください。それぞれの山鉾に祀られている御神体はどれも個性的。たとえば、浄妙（じょうみょう）山（後祭）の一來（いちらい）法師と筒井浄妙の厳めしい顔つきや、黒主山（後祭）の相伴黒主（おおとものくろぬし）が桜を仰ぎ見る様子など、山鉾巡行のときにはなかなか見えない表情がとても面白いんです。町会所では御神体の由来も紹介されているので、そちらもチェックしておきましょう。山鉾巡行の鑑賞が、より楽しくなるはずですよ」

【その③ 各山鉾の儀式を見よう】



未

山村さん「山鉾巡行の安全を祈願するために、聖護院門跡の山伏達が山伏山（前祭）や役行者山（後祭）で行う護摩焚きや、綾傘鉾（前祭）や四条傘鉾（前祭）の無形民俗文化財に指定されている棒振り囃子といった、一部の山鉾で行われる独自の儀式が見どころのひとつです。なかでも特に見ていただきたい儀式が、南観音山（後祭）のあばれ観音。7月23日の深夜から、台座に載せた観音様を激しく揺さぶるという、なんとも変わった儀式です。かなり激しいので、少し離れてご覧になってくださいね（笑）」

【その④ 各山鉾の御利益を授かる】



未

山村さん「各山鉾は、由来によってさまざまな御利益があります。たとえば保昌（ほうしょう）山（前祭）は、御神体の平井保昌（やすまさ）と和泉式部の恋物語に由来することから、縁結びの御利益があると言われています。鈴鹿峠で悪さをしていた山賊（鬼とも）を退治した鈴鹿権現を祀る鈴鹿山（後祭）は、珍しい盗難除けの御利益。由来を知って、“だからこういう御利益なんだ”と理解しながら、自分の願いに応じた御利益を求めて巡るのも楽しいですよ。また、各山鉾では宵山の期間中、御朱印の授与も行っています。専用の御朱印帳も販売されているので、ぜひ巡って山鉾とのご縁を結んでみてはいかがでしょうか」

【その⑤ 屏風祭を楽しむ】



山村さん「宵山の期間中でもとくに見逃せないのが、**屏風祭**。山鉾町にある旧家や老舗の商店が所蔵する、屏風をはじめとした美術品や調度品が一般公開されます。新町通と六角通の交差点に位置する野田家で公開（後祭）される屏風は、“源平合戦”を描いたもの。源義経の“鶴越（ひよどりごえ）の逆落とし”と“屋島の戦い”の場面が一双になった屏風で、とくに皆さんに馴染みがあるのではないのでしょうか。屏風というと堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、飾られているものはどれも貴重で価値のあるものばかり。この機会に、ぜひ屏風の美しさに触れてみてくださいね」

※屏風祭は、一部有料のお家・施設があります

山村さんがおすすめする祇園祭の行事

7月の一ヶ月間には、宵山や山鉾巡行のほかにも、さまざまな神事や歳時が行われます。そのなかで、山村さんが特におすすめする行事を教えてくださいました！

山村さん「**山鉾建て**がおすすめです。前祭の山鉾は10日から、後祭の山鉾は17日から組み立てが始まります（一部を除く）。釘を使わずに木と縄だけで組み立てていく“縄がらみ”の様子は、まさに職人技。だんだんと形になっていく山鉾を見るのはとても面白いですよ。山鉾が完成したら、一部の山鉾では**曳（ひ）き初め・舁（か）き初め**が行われます。これは、建てたばかりの山鉾がちゃんと動くかどうかのテスト。誰でも参加できるので、ぜひ“曳き手”になって、貴重な体験をしてみてください！」

※各山鉾によって、曳き初め・舁き初めの日程が異なります。



未

鉾建ての様子

山村さん「また、7月10日の19時半から四条大橋で行われる、**神輿洗式**も見応え抜群ですよ。神輿渡御（みこしとぎょ）で素戔鳴尊（すさのおのみこと）が乗る中御座（なかござ）神輿を、鴨川から汲んだ御神水で清める神事なのですが、その際にかかなり水しぶきがかかるんです（笑）でも、このしぶきにかかれば無病息災のご利益が授かれるそうで、辺りは大変な賑わいとなります。また、7月13日の11時から八坂神社で行われる**社参の儀**もおすすめです。長刀鉾のお稚児さんが、身を清めるためにお参りをする儀式で、これを**お位もらい**ともいいます。この儀式を行ってから、お稚児さんは“神の使い”として扱われるのですが、その初々しい姿がとても可愛らしいんですよ。いずれも一般見学が可能なので、訪れたらぜひ見ていただきたいですね！」

「宵山」の見どころや楽しみ方はいかがでしたか？ 祇園祭に行くのが初めての方も、そうでない方も、ぜひ参考にしてお祭りを楽しんでみてくださいね♪ ご案内いただいた山村さん、ありがとうございました！

★「そう京」イベントのお知らせ★

「そう京」イベントでは、7月16日（月・祝）に「町家でひとやすみ」（入場無料）を“ちおん舎”にて開催します！ お越しいただいた方には、冷たいお茶やお菓子のサービス、祇園祭ならではの催しなどをご用意。宵山散策の休憩に、気軽にお立ち寄りください♪

＼参加申し込みは不要！／

⇒「町家でひとやすみ 2018」イベントの詳細は[こちら](#)

さらに、「らくたび・京都学講師」に祇園祭をご案内いただくイベントも開催！ 講師の詳しい解説を聞きながら、夕刻の風情溢れる宵山を散策したり、観覧席から迫力満点の山鉦巡行をじっくりと鑑賞してみませんか？ ガイドブックには載っていないような裏話まで聞けるかも・・・！？ 皆さまのご参加をお待ちしております♪

＼参加申し込み受付中です♪／

⇒お祭気分も最高潮！ 活気溢れる前祭の宵山「祇園祭 夕刻の宵山ウォーク～前祭編～」

⇒大迫力の山鉦巡行を間近で拝見！ 「観覧席から祇園祭を楽しむ（前祭巡行）」

⇒祭本来の古き良き情緒漂う、後祭の宵山「祇園祭 夕刻の宵山ウォーク～後祭編～」

⇒個性豊かな山鉦が集まる後祭「観覧席から祇園祭を楽しむ（後祭巡行）」